



令和6年第1回山元町議会定例会

一般質問通告一覧表

令和6年2月29日・3月4日

通告番号	1	5番 大和 晴美 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 帯状疱疹の予防ワクチン接種について 令和4年12月の会議でも「帯状疱疹の予防ワクチン接種について」を質問した。</p> <p>(1) 前回の答弁で「予防に対する正しい知識を周知して参りたい」とあったが、その後の町の対応は。</p> <p>(2) 定期接種化を待たずに公費助成を始めた自治体はなぜ始めたと思うか。</p> <p>(3) 国の動向を注視している間に分かったことは何か。</p> <p>(4) 公費助成を始めている自治体が、全国で344（令和6年1月現在）自治体まで増えている現状を踏まえ、町の見解は。</p>	町 長
<p>2 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援について</p> <p>(1) 令和6年4月設置予定の「こども家庭センター」での業務集約をどのように進めていく考えであるか。</p> <p>(2) 5歳児健康診査を実施する考えはないか。</p> <p>(3) 仙台市が実施している「5歳児のびのび発達相談」をどう考えるか。</p>	町 長

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

通告番号	2	12番 岩佐 哲也 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 選挙公約に掲げた諸問題の取り組み状況及び今後の対応について</p> <p>(1) 選挙公約の基本に掲げていた「町政刷新」とは、何をどのように取り組み、どう刷新を実行したのかについて具体的に伺う。</p> <p>(2) 公約のイの一番に掲げていたのは豪雨水害対策であったが、その取り組みの進捗状況について具体的にどのように取り組んだのかについて伺う。</p> <p>(3) 子育て世帯への継続的・効果的な支援の取り組みや進捗状況、小学校1校統廃合計画を改めて検討することの住民への説明責任、及び坂元地区保育所再建の検討について伺う。</p> <p>(4) 高齢者・障害者福祉の推進について、真正面から取り組むとしていたが、何をどう取り組んだのかについて伺う。</p> <p>(5) 新市街地への一極集中から脱却の取り組み状況について、津波防災区域の見直し、非農用地の整備、元坂中跡地などの町有地・遊休地等の利活用についてどう取り組んだのかについて伺う。</p> <p>(6) 町長が目指す町政運営についてと題して掲げた諸問題（職場環境改善・適正な人員配置・職員との信頼関係確立・町内業者の育成・公共施設維持管理費の検証・健全な財政運営・議会への情報提供・真摯な政策議論等々）に関して具体的なそれぞれの取り組み状況について伺う。</p> <p>(7) 公約の積み残しの今後取り組む予定、スケジュール等について伺う。</p>	町 長

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

通告番号	3	7番 伊藤 貞悦 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 町制70周年記念事業及びこれからの「町づくり」について  昭和30年(1955)2月1日、山下・坂元両村が合併し「山元町」が誕生、令和7年(2025)2月1日には町制施行70周年を迎えるが以下のことについて伺う。</p> <p>(1) 70周年記念事業について具体的な計画はされているのか。  ア 記念式典実施の有無、時期、内容について伺う。  イ 記念事業の実施について、実施するのであればメインの事業をどのように考え、実施に向けた計画はあるのか。  ウ 町全体で祝意を示し、町民意識の高揚を育むための計画等はあるのか。  エ 70周年を記念し、町木(シンボルツリー)や町花(ひまわり)等を追加する考えはないか。</p> <p>(2) 70周年以降の将来(未来)の町づくりに、町民が夢や希望を持てるように小中学生や若者、各種団体と数回にわたり、「山元町シンポジウム」等懇談会を開催する考えはないか。</p> <p>(3) 活字や映像として記録を残す計画について伺う。  ア これまでの町史の再編と発行は考えられないか。  (活字・映像・記録媒体等)  イ 震災からの復興過程をまとめておく考えはないか。  (含: 70周年記念事業)  ウ 自然・史跡・町並みや道路等の変化をまとめておく考えはないか。</p>	町 長

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

通告番号	4	6番 渡邊 千恵美 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 排水対策について</p> <p>(1) 排水対策は地域住民にとって喫緊の課題である。  住民懇談会においても、各地区から排水対策に関する要望も多く寄せられたと思うが、財源確保の関係から、先送りされてしまう地区もある。  他の事業と比較しても排水対策は早急に対策を講ずる必要があると考えるが、排水対策事業の優先順位を上げる考えはないか。</p> <p>(2) 排水対策プロジェクトチームを立ち上げ、根本的な原因を追究し、安全・安心な町づくりに力を注ぐ取り組みを強化し、排水対策と併せた町づくりを進める考えはないか。</p>	町 長

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

通告番号	5	2番 高橋 眞理子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 自助・共助による防災意識の高い町づくりに向けた町の対応について          県が令和4年5月に、日本・千島海溝地震による本町の津波浸水域が1.2倍になると想定し、発表したことや、今年1月の能登半島地震を踏まえ、大震災への防災に向け更なる取り組みを図ったか以下のことについて伺う。</p> <p>(1) 災害情報発信に会員制交流サイト（SNS）などスマートフォンアプリの活用を図る考えはないか。</p> <p>(2) 災害時の多様な伝達手段の一つとして、臨時災害FMラジオを立ち上げる考えはないか。</p> <p>(3) 沿岸部から伸びる避難道路の最後の11本目、町道上平浜原線が令和6年度完成予定となっているが、国道6号までつなげる考えはないか。</p> <p>(4) 行政区の集会所等を活用した指定避難所の追加や変更、及び備蓄品の量が足りていないと考えるが、増やす考えはないか。</p> <p>(5) 指定避難所以外の在宅避難者や車中生活を送る避難者などへの、物資提供のルールづくりを早急に進める考えはないか。</p> <p>(6) 要支援者の個別避難計画や支援方法を確実なものとするために、明確に拒否する人を除き、名簿提供を原則とする条例を制定する考えはないか。</p> <p>(7) 住宅の耐震チェックと耐震改修助成制度の利用促進を図る考えはないか。</p> <p>(8) 冬季避難訓練等を実施するなど、先進自治体のノウハウを収集して、より具体的、実践的な内容で避難訓練を実施する考えはないか。</p> <p>(9) 防災意識向上を図るための住民説明会や子どもから大人まで町民全体で取り組むフォーラムなどを開催する考えはないか。</p>	<p>町 長</p>

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

通告番号	6	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 未来に向けた町政運営について</p> <p>人口減少、少子高齢化が駆け足で進む本町では、未来を見据え、地域経済が安定し、町民が快適で安心な暮らしを営んでいける持続可能なまちづくり・町政運営が求められている。</p> <p>その実現に向け、基本的かつ重要な視点に対する認識と課題、対応を伺う。</p> <p>(1) 都市計画制度の活用による将来展望を踏まえたまちづくりの在り方について</p> <p>(2) 関係市町との広域連携の仕組みを活用した、更なる行政サービス提供の在り方について</p> <p>(3) 懇談会など広聴制度を活用したまちづくりの在り方について</p> <p>(4) 地方分権の推進に伴う執行部・執行機関の政策形成過程への議員参画の在り方について</p> <p>(5) 新制度に移行した正・副行政区長の適格要件と適用の在り方について</p>	町 長
<p>2 持続可能なまちづくりを見据えた財政運営について</p> <p>改定された「山元町中期財政見通し」では、令和5年度から向こう5か年間の財政需要が示されたが、予算編成の財源不足を補う一般財政調整基金残高(真水分)は、最終年度となる令和9年度末には、震災前の水準以下にまで落ち込み、その後の財政運営に極めて暗い影を落としている。</p> <p>示された当面の大口財政需要見込以外にも、小学校再編や消防分署の建て替え等に伴う所要額が見込まれる。</p> <p>持続可能なまちづくりを見据え、危機感のあるシビアな財政運営についての認識と課題、対応を伺う。</p> <p>(1) 身の丈に合った財政規模及び、当面以外の大口財政需要見込、歳入確保策について</p> <p>(2) 財政構造の弾力性を示す経常収支比率を踏まえた経常経費の在り方、取り分け、維持管理経費の縮減努力について</p> <p>(3) 歳入確保の一端を担う各種施設等の使用料など受益者負担原則の徹底及び、行政サービス水準の確保について</p>	町 長

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

通告番号	7	11番 岩佐 孝子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 活気あふれた町づくりについて  甚大な被害を受け復旧・復興そして再生へ向けて取り組んできた13年間です。この間、被災による人口減少、少子高齢化が顕著であります。  しかし、町内には多くの資源があります。この資源を生かし、キラッと光り輝き活気あふれた町づくりをめざし、次の件について伺います。</p> <p>(1) 子育て環境整備を図るための「定住促進事業」について伺う。</p> <p>(2) 地域コミュニティを図るとともに、災害時における情報発信のためラジオ局設置の考えはないかについて伺う。</p>	町 長

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

通告番号	8	3番 遠藤 龍之 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 介護保険事業の取り組みについて</p> <p>国は来年度以降の訪問介護基本報酬の引き下げを考えているようだが、今、介護保険事業は、深刻な介護職員不足である。なかでも訪問介護は、人手不足を訴える事業所が全体の8割に及び、関係職種でも群を抜いており、ホームヘルパーの有効求人倍率は15.53倍(2022年度)と激増している。ヘルパーの不足や高齢化の影響で、訪問介護事業の倒産は過去最多を更新しており、要介護状態になっても、ヘルパー不足で必要な訪問介護を利用できない事態が進行していることが伝えられている。この現状を踏まえ、町での訪問介護の取り組み状況、課題は。</p>	町 長
<p>2 老人福祉対策の拡充を</p> <p>一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる対策の一つとして、一人暮らしの生活実態等を確認しながら、以前あった養護老人ホーム(梅香園)を再建する考えはないか。</p>	町 長
<p>3 「町民が主人公のまち・山元町」の実現に向けた取り組みについて</p> <p>町は地区懇談会を実施し、町民も「新たなまちづくり」に期待を寄せている。町長は、共に町の未来を切り開いていくためにも、引き続き、誰もが安心・安全に暮らし、希望を持ち笑顔が輝く、「町民が主人公のまち・山元町」の実現に向け取り組むとしているが、「新たなまちづくり」を進めていく上で、町民との間で情報の共有が大事と考える。その施策の一つとして、町民への情報提供の事業として以前あった、日常的な町の情報発信としての「有線放送」、「りんごラジオ」等を再開し、町政、議会の現状、動き等の情報を町民に提供し、「町民が主人公のまち・山元町」の実現にいかしては如何か。</p>	町 長

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.